

SR SUNTOUR 安全乗車のためのガイドライン

乗り手の安全を促進するための、一貫した活動のひとつとして、SR サンツアーはこの、『安全乗車のためのガイドライン』を発行します。以下の推奨事項を注意深くお読み頂き、楽しく自転車に乗り、事故を防ぎましょう。

1. お乗りになる前に



事故や重大な怪我を防ぎましょう。事前に走行テストをクリアしなかった自転車には乗らないでください。なにか不具合があれば、乗る前に直してください。もし、なにかしらの不安を感じるのであれば、走行しないでください。修理が必要の際は、自転車専門メカニックに相談してください。

1. いかなるフォークにも誤用、酷使、不適切な使用を行うことにより、短期間の使用で、予期していない時に、フォークを破損させる可能性があります。
2. ご使用のフォークのどこにも、ヒビ、摩耗、塗装の損傷、変形や凹凸といったフォークの故障の原因となり得る印がないことを確認してください。
3. フォークから前輪を外し、クイックリリース、ハブ、フォークのドロップアウトや前輪脱落防止用のツメに損傷や動いた跡が無いかを点検してください。摩耗、引っ掻き傷、塗装の擦れ、凹み、傷、変形またはその他の損傷が見られた場合、クイックリリースが正しく締め付けられていない可能性があります。クイックリリースの正しい締め付け方(以下の項目 4 番を参照)を学び、ご使用のフォークが安全に走行できるよう、メカニックに検査してもらいましょう。
4. すべてのクイックリリース締め付け金具、ナットやボルトが正しく締められていることを確認してください。自転車を地面から少し浮かして落としてみて、何か固定されていないような音がしたり、動かないはずのところ動いたりしてないか等を確認してください。クイックリリースはモデルごとに異なり、その締め付け方法も様々です。ご使用のクイックリリースに対応した正しい締め付け方法に関しては、ご使用のクイックリリースの取扱店または販売店にご相談ください。前輪を適切にフォークへ取り付けるには、ご使用のクイックリリース取扱店・販売店による指示に必ず従って下さい。クイックリリースが適切に取付けられていないと、前輪が外れたり、フォークの損傷または事故や重大な怪我が発生する恐れがあります。
5. 車輪は完全に中央に取り付けられている事を確認してください。車輪を回転させ、ぐらついたり上下左右方向に振れていないことを確認し、さらに車輪が回転中にフォークレッグやブレーキパッドと接触しないことも確認してください。車輪が

正常に回転しない場合、クイックリリースが適切に締め付けられているかを確認してください。上記の項目 4 番を参照してください。

6. ホイール以外の、ブレーキ・クランク・ケーブル類・パッド・チェーン・グリップ・ハンドルバー・フレーム・サドルなど、すべてのコンポーネントが最適な状態であり、且つ使用に適した状態であることを確認してください。
7. 走り始めたら最初にブレーキのテストを行い、適切に作動していることを確認してください。
8. タイヤに適切な空気圧の空気が充填され、トレッドやサイドウォールに損傷がないことを確認してください。
9. ヘルメットや走り方に合った安全装具を常に装着しましょう。
10. お住まいの地域の自転車についての法律や規則を学び、遵守し、走行中は信号、道路標識そして法律のすべてに従いましょう。

2. 正しく乗ろう - フォークの誤用や酷使はお止めください

絶対にご使用のフォークの酷使や誤った方法では使用しないでください。走り方を学び、ご自身の能力の範囲内で走行してください。制御不能な走行、激しい走行、フォークの不適切な使用は、数回行っただけでも、数年間の使用に相当します。トレイル上の障害物を適切に避けながら走る方法を学びましょう。石、木または穴に真っ直ぐ衝突すると、吸収を想定していないほどの大きな力をご使用のフォークに加わります。ご使用のフォークでジャンプやドロップ(落下)は決して行わないでください。



警告

トレイル上の障害物を避け損なう、激しく走行する、またはいかなる高さでもジャンプやドロップ(落下)を行うことで、ご使用のフォークが破損し、制御不能、事故、重大な怪我または死亡を引き起こす恐れがあります。



警告

ご使用のフォークは日々の整備や修理を必要とします。多く使用するほど、ご使用のフォークの点検や整備を、より頻繁に行わなければなりません。メカニックに相談し、フォークのご使用頻度に最適な点検スケジュールを設定してください。ご使用のフォークに屈曲、変形、引っ掻き傷、ヒビ割れ、傷あるいは塗装の摩耗が見られる場合、その大きさに関わらず、再び使用される前に、SR サンツアー製品取扱店にご相談下さい。